

ミスミグループ通信 vol.61

2023年4月1日～2024年3月31日

M I S U M I A r t C o l l e c t i o n

『For Love《愛のために》』 1965年 ジェームズ・ローゼンクイスト

ローゼンクイストは、ポップアートを代表するアーティストの一人です。

60年に最初の妻メアリー・ルー・アダムスと結婚し、その後息子のジョンを授かります。64年にはアンディー・ウォーホルと出会い、65年にはベトナム戦争と消費主義を批判した代表作「F-111」を発表し、世界的な評価を受けました。

公私ともに充実したこの時期に版画制作も手がけ、『For Love《愛のために》』は大きく開かれた子供のような手や、魚等様々なモチーフが一つの画面に重ねて配置され、彼の身近にある、愛するものを描いたのかとも思わせる明るい色使いでほっとするような作品です。



© 2024 James Rosenquist Foundation / ARS, NY & JASPAR, Tokyo E5576

MISUMI Art Collection

ジェームズ・ローゼンクイスト
『For Love《愛のために》』

解説は裏表紙をご覧ください。

株式会社 ミスミグループ本社

〒102-8583 東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス
TEL:03-6777-7501 FAX:03-5211-7502
URL: <https://www.misumi.co.jp/>



株式会社 ミスミグループ本社

証券コード: 9962

「デジタルモデルシフト」の加速と地域毎成長戦略とのシナジーにより、ユニークな競争優位性を構築



代表取締役会長
西本 甲介

代表取締役社長
大野 龍隆

2023年度における世界経済は、製造業を中心にグローバルで設備投資需要が低迷し、厳しい状況が続きました。中国においては、不透明な経済状況により需要が総じて低調に推移し、日本やアジアも一部の地域を除いて、需要低迷が継続しましたが、期末にかけて緩やかな回復基調が見られました。一方、欧米では、地政学リスクなど景気後退の影響を受け、下期より減速感が現れました。

こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしています。これを支え

る事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。

これまで当社が築いてきたIT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網をさらに強化すべく、最大拠点の日本において基幹システムを刷新しました。同時に、新商品、新サービス開発を含む新事業政策の加速を継続した一方で、グローバルで設備投資需要低迷の影響を受け、2023年度の連結売上高は3,676億4千9百万円(前

年同期比1.5%減)となりました。

セグメント別に見ると、FA事業は、日本においては前年並みの水準を維持できましたが、中国を中心に海外地域では低調に推移し、売上高は1,182億1千9百万円(前年同期比3.0%減)となりました。金型部品事業は、総じて全地域で軟調だったもののアジア・欧州を中心に自動車関連需要を獲得し、為替効果もあり、売上高は799億3千2百万円(前年同期比1.0%増)となりました。VONA事業は、日本においては前年並みの水準を維持できまし

たが、海外地域では中国とアジアが顧客工場の稼働低迷影響を受け、低調に推移した結果、売上高は1,694億9千7百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

利益面につきましては、売上数量減、事業モデル革新に向けた新基幹システム導入に関わる費用増加等の影響により、営業利益は383億6千5百万円(前年同期比17.7%減)、経常利益は412億6千5百万円(前年同期比13.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は281億5千2百万円(前年同期比17.9%減)となりました。

大量調達にも対応する「D-JIT」の開始で、デジタルモデルシフトをさらに推進

世界経済および日本経済は、グローバルサプライチェーンの地域ブロック化が引き続き進展する中、今後も不透明な経営環境が続くものと想定しています。一方で、産業界では様々な社会課題を見据えて自動化の需要はグローバルで一層の高まりが期待されます。

当社では、こうした顧客のニーズに対応すべく、今後もIT、生産、物流の事業基盤を進化させ、「グローバル確実短納期」にさらに磨きをかけてまいります。また、顧客時間価値の向上に向けて、地域市場、新事業、新商品、新サービス等の開発を加速させるとともに、異なる市場毎のニーズに対応できるように、各市場に合致したデジタルモデル化を推進してまいります。

2024年度の主な取り組みについてご紹介します。

当社は多様化が一層進む自動化に対する顧客ニーズに対応すべく、デジタルモデルの継続開発に取り組みま

す。また、市場毎に異なる顧客ニーズへの対応も強化し、それぞれの競争環境に適応する各地域最適モデルを構築します。これらのシナジーにより、ユニークな競争優位性を築いてまいります。

「デジタルモデルシフト」の第1弾として展開したサービス「meivy」については、機械部品の3Dデータまたは2D図面をアップロードするだけで、即時見積り、最短1日出荷を実現できています。顧客の多様なニーズに適応するため、「商品強化」および「システムインテグレート」を継続的に強化し、これまでの強みを活かした新たな取り組みにも着手し、グローバルでの成長加速を図ってまいります。

また、価格競争力に優れた「エコノミー品」を第2弾として中国・アジア・日本の3地域に展開しており、商品開発による品揃えの充足とともに差別化路線を推進し、各市場においての浸透加速を目指しています。

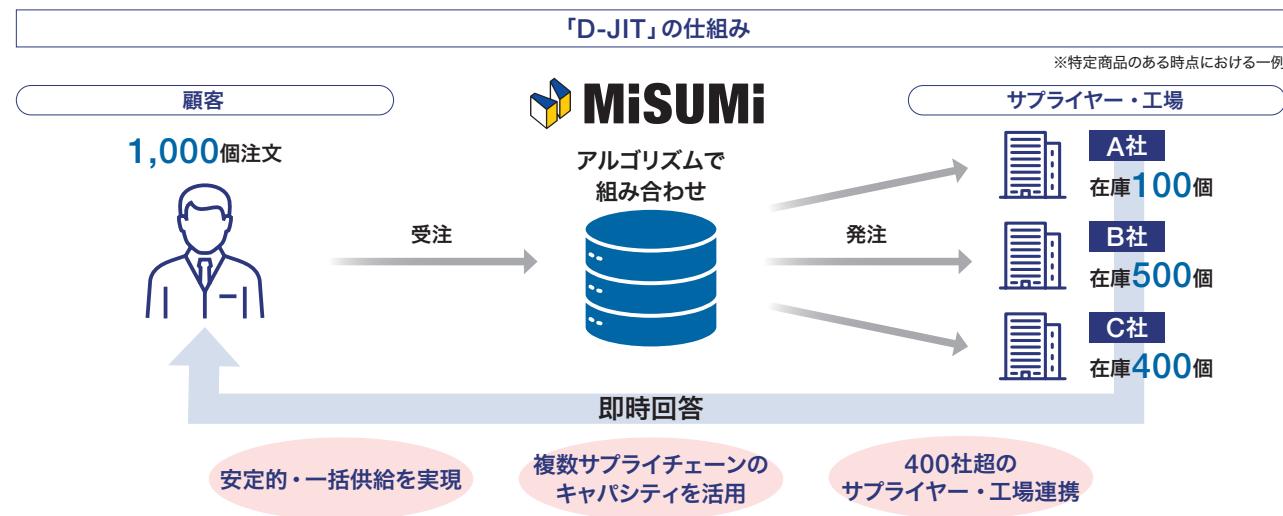
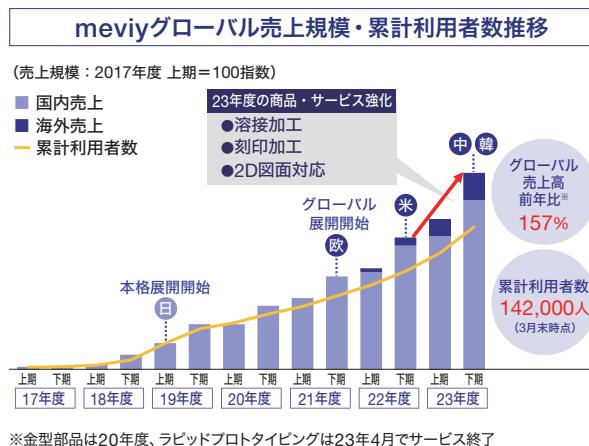
Top Message

トップメッセージ

これらに加え第3弾では、顧客調達プロセスにおける革新をもたらす新サービス、「D-JIT[※]」の本格運用を開始しました。顧客の希望数量に応えるべく、これまでの「少量短納期のミスミ」から「大量でもミスミ」へ転換し、ITを活用した「動的」供給体制の構築により、日本からグローバルに拡大していく予定です。

こうした施策に取り組むことで、2024年度の売上高は3,930億円、営業利益は460億円、親会社株主に帰属する当期純利益は344億円を見込んでいます。

※ D-JIT:「デジタル版のJust in Time」



2分でD-JITがわかる動画も公開中!

webサイト「生産間接材購買プロセスDX革新 D-JIT (ディージット)」

▶ https://jp.misumi-ec.com/pr/d_jit/

ミスミ D-JIT 検索

株主還元

当社グループは、社員の挑戦を起点として、顧客であるIA (インダストリアル・オートメーション) 産業の持続的成長へ貢献し、IA 産業の自動化、省力化による社会の持続的発展を支える成長連鎖経営を志向しております。この実現に向けて、地域・事業・新商品・新サービス開発等へ積極的な成長投資を行い、顧客時間価値向上に

自己株式取得

自己株式取得につきましては、手元資金、成長投資機会、株式市場の動向など状況に応じて、機動的に実施していきます。

本自己株式取得は、株主還元の充実と機動的な資本政策を目的としています。

取得に係る事項の内容

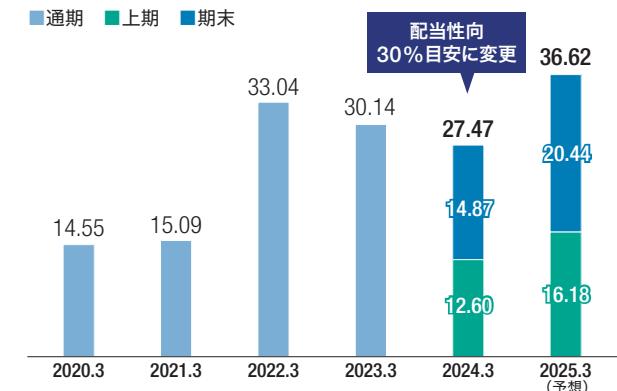
取得総額上限 : 200億円
 取得株数上限 : 12,000,000株
 取得期間 : 2024.05.17~2024.11.29

貢献する事業モデルの進化に取り組んでいます。また、中長期的な企業価値向上の実現に向けて、資本コストを的確に把握し、資本コストを超える資本収益性となるよう、エクイティスプレッドの拡大を目指しております。そのため、中長期的な視点での成長投資と株主の皆さまへの還元は、バランスを取りながら実施してまいります。

配当金

配当につきましては、これまで、配当性向25%を目安としておりましたが、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、2023年度の期末配当より配当性向30%を目安に実施するよう変更いたします。

1株当たり配当金 (円)



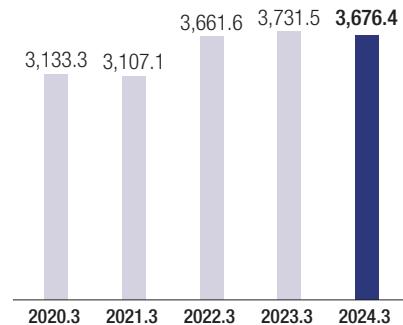
Financial Highlights

連結財務ハイライト

売上高 (億円)

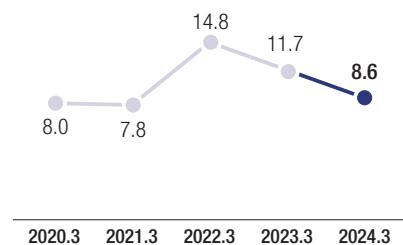
3,676.4 億円

前年同期比 1.5% 減



自己資本当期純利益率 (ROE) (%)

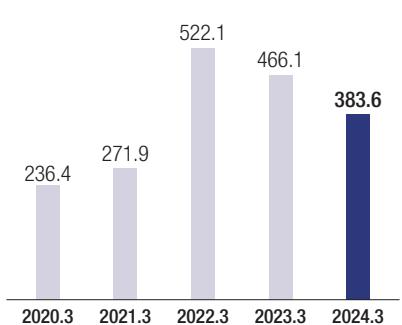
8.6%



営業利益 (億円)

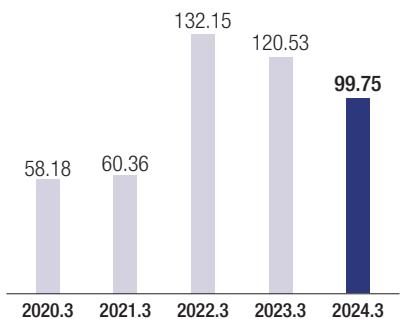
383.6 億円

前年同期比 17.7% 減



1株当たり当期純利益 (円)

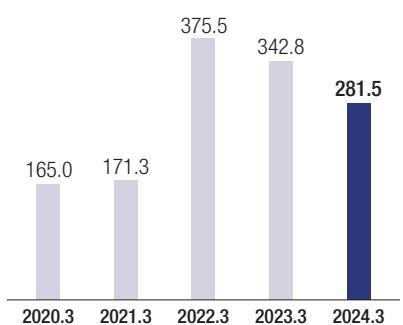
99.75 円



親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)

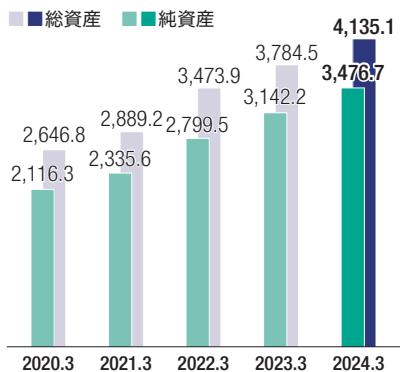
281.5 億円

前年同期比 17.9% 減



総資産・純資産 (億円)

総資産 **4,135.1** 億円 純資産 **3,476.7** 億円



セグメント概況

FA事業



製造装置、生産自動機などに利用する精密機械部品の開発・生産・販売をしています。

金型部品事業

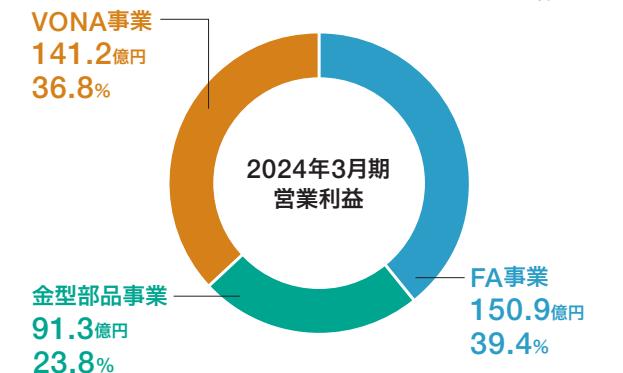
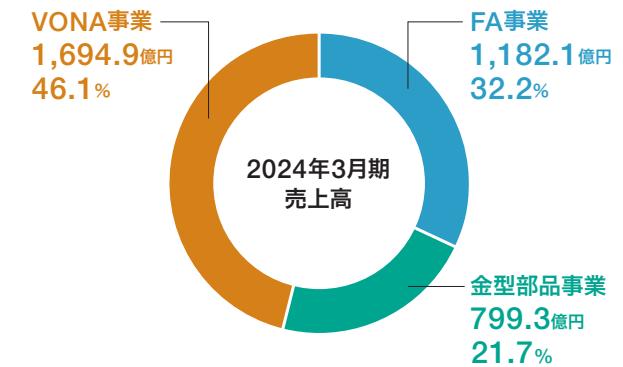


プレス部品、樹脂成型部品を量産する金型に組み込む標準部品や精密部品の開発・生産・販売をしています。

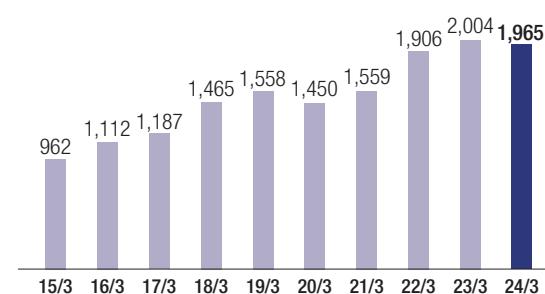
VONA事業



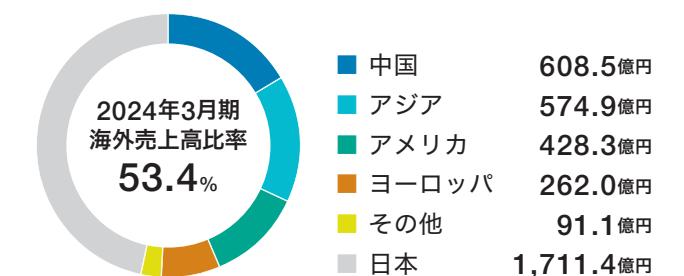
他社商品も含めた自動化関連間接材から消耗品まで幅広い商品群を販売する流通事業。ミスミブランドの他、グローバル3,000社以上のメーカーが参画しています。



海外売上高 (億円)



地域ごとの状況



詳細な財務情報は当社ホームページ「株主・投資家情報」へ <https://www.misumi.co.jp/ir/>

ミスミ IR 検索



meviyデジタルマニュファクチュアリングシステム ~デジタルものづくりの進化を初公開~

当社が提供する機械部品調達のAIプラットフォーム「meviy (メビー)」は、その確実短納期を支えるデジタルマニュファクチュアリングシステムを専用webサイトで初公開しました。meviyデジタルマニュファクチュアリングシステムは、技術的にも難易度の高い変種変量における確実短納期を実現するための無人生産システムです。自社独自開発のシステムであるため、meviyで生産される製品の品質向上に加え、デジタル進化による更なる納期短縮や原価低減を可能としています。

今後もミスミは、ユニークな生産モデルを構築し続けることで、IA (インダストリアル・オートメーション) 産業顧客にグローバルで時間価値を提供し、生産性の向上に貢献してまいります。



meviy の部品が作られる工場とデジタルものづくりの仕組みの一部を動画で公開しています！

webサイト「meviy デジタルマニュファクチュアリングシステム」

▶ <https://meviy.misumi-ec.com/ja-jp/pages/dx/factory/>

meviy デジタル

検索



meviy Factory Dayを開催

meviyの核となるイノベーションを広く知ってもらうことを目的に、100%子会社である(株)駿河生産プラットフォーム清水工場にて、meviyデジタルマニュファクチュアリングシステムを初公開するイベントを開催しました。イベント冒頭、当社責任者2名によるプレゼンテーションを実施、メインの工場見学ツアーでは、ミスミのデジタルものづくりにおける進化の過程を紹介しました。参加者からは質問が飛び交い、大変熱心に見学いただきました。



常務執行役員
ID企業体社長 吉田 光伸



(株)駿河生産プラットフォーム
代表取締役社長 遠矢 工



工場見学ツアーでは、材料をウォータージェットが自動で切り出すラインなどを紹介

有識者、ユーザーの声 (一部抜粋)

ミスミの「カタログ標準化」、「型番による受注製作品」のグローバル確実短納期に続く、3D設計データからAI見積りに直結するデジタルものづくりで最短即日出荷するmeviyは、ミスミの設計革新・デジタル生産革新の流れから見た三幕の物語であり、本日のFactory Dayでその様を見ることができた。今後もこの進化を見守りたい。

(早稲田大学ビジネス・ファイナンス 研究センター 研究院教授 藤本 隆宏 教授)

meviyの利点はエンジニアリングの時間を革命的に削減してくれ、より重要な業務に時間を使える点。直近で大型工作機械の設計を行ったが、90%以上の部品をミスミやmeviyで手配したことで、非常に短時間で発注ができた。また、精緻な部品を再現性高く加工し、納品してくれる点も素晴らしい。

(米系大手 EV メーカー メカ設計ご担当者 様)

Corporate Data

会社情報

会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名: MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都千代田区九段南1丁目6番5号九段会館テラス
資本金	141億4千6百万円
事業内容	グループの経営戦略立案や管理ならびにそれらに付随するグループ経営に必要な機能を有する
従業員数	11,039名 (ミスミグループ連結)
URL	https://www.misumi.co.jp/



ミスミグループトップマネジメント (2024年6月13日現在)

取締役		名誉会長			
代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆	三枝 匡	
専務取締役	清水 新	常務取締役	金谷 知樹	常務取締役 清水 重貴	取締役 徐 少淳
取締役(筆頭社外)	中野 庸一	取締役(社外)	栖関 智晴	取締役(社外)	矢野 圭子

経営執行役 統括G役員

代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆		
専務取締役・CIO DDプラットフォーム代表執行役員 SCプラットフォーム代表執行役員	清水 新	常務取締役 中亞事業統括 アジア企業体社長	金谷 知樹	常務取締役 日本企業体社長	清水 重貴
取締役 中国企業体副社長 ミスミ(中国)精密機械貿易有限公司 董事長兼総経理	徐 少淳	常務執行役員 ID®企業体社長	吉田 光伸	常務執行役員 中国企業体社長	荒川 亨
常務執行役員 米州企業体社長	大洞 龍児	常務執行役員 人材・法務プラットフォーム 代表執行役員	佐々木 貴子	CFO・常務執行役員 ファイナンスプラットフォーム 代表執行役員 SXプラットフォーム 代表執行役員	高波 徹

経営執行役

日本企業体副社長	荘司 秀佳	日本企業体副社長	川上 浩一	OST企業体社長	渡邊 宣公
Factory-MRO企業体社長	馬場 隆	欧州企業体社長	村田 規明	生産プラットフォーム 代表執行役員	遠矢 工
Gateway推進本部長	鷲見 昌丈	DJシステム推進本部長	木戸 雄介		

監査役

監査役	男澤 一郎	監査役	和田 高明	名誉会長・第2期創業者	三枝 匡
監査役(社外)	野末 寿一	監査役(社外)	青野 奈々子	特別顧問・創業者	田口 弘

※ ID=Industrial Digital Manufacturing

Shareholders Memo

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会・期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00 -17:00)	
同送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場	
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
公告掲載URL	https://www.misumi.co.jp/ir/	

書面交付請求について ~インターネットのご利用が困難な株主さまへ~

従来通り株主総会資料を書面で受領ご希望の株主さまは、お手続きが必要となります。

- ・交付書面請求の受付期限は、株主総会の基準日までにお申し出が必要です。
- ・お手続き方法については、証券会社または株主名簿管理人にお申し出いただく必要があります。

注意事項

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

住所変更、買取請求その他各種お手続きについて

原則、株主さまの口座のある証券会社にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。